

特集

# 健康づくり 市民推進委員 × 市議会

今回は、地域の健康づくりのために活動されている「健康づくり市民推進委員」さんです。少子高齢化が進む中、ますます大切になる健康づくりで、住民と行政をつないでいる委員さんの活動と、現状のお話を聞くことができました。



何でも覗いてみたいと思うのと、  
まだ、議会には行ったことがありません。

〈推進委員をはじめたきっかけは？〉

自治会内でお世話になっていたので、協力できることがあればと思って引き受けました。最初は1期だけのつもりだったのですが…。なかなかやめられなくて(笑)。でも、1期だけでは、分からないうちに終わってしまいます。自分の勉強にもなるし、地域とのつながりもできるので、多くの人に経験して欲しいですね。

〈推進委員の活動内容は？〉

地域での健康に取り組む活動などをしていきます。認知症対策、わかひび体操、おやぎづくりなど、地域での活動はそれぞれです。健康と関係ないと思われる活動もあるかもしれませんが、みんなが集まって笑いながら何かをするのも健康につながると考えています。

〈推進委員のやりがいは？〉

地域の人に少しでも喜ばれたり、頼られるのもやりがいがあります。まったく知らなかった町内会・自治会の方と顔見知りになったりするのも楽しいことです。

〈議会を傍聴したことは？〉

私は一度もありません。議員さんは難しい言葉を使うじゃないですか。おそらく傍聴してもわからないですよ。野次馬的な性格の私で

もなんだか行きづらいですね(笑)。何でも覗いてみたいと思うのに、まだ、議会には行ったことがありません。行政に関わっている人じゃないと、行けないと思ってしまっ。一般質問の記事で読んでも分からないものもあります。だから、行ってもわからないのでは。それが、「行きたくない」になっちゃうんだよね。

〈議会報のリニューアルは？〉

表紙が良いから新聞折り込みに入っていると真っ先に手に取るようになりました。以前は、地味だったからね。文章もかたい感じではなく、丸い感じになったので良いと思います。全体の柔らかさがいいよね。でも、読み進めていくなかで一般質問のページくらいから疲れてきますね(笑)。

〈議会に望むことは？〉

公共交通機関が充実していない地域は、健康推進活動を実施しても参加できない方がいます。お年寄りの方には、外に出るきっかけになっているはずですが、地域によっては歩ける距離ではないので集まりません。今後は、戸倉地区で始めた「盆堀号」のようなものを考えないといけないのではと思っています。



※盆堀号  
戸倉地区の交通対策事業で使用しているワゴン車の名称。



# ● 3月定例会 ●

## あきる野市の

## こんなことが決まりました。

会期29日間 2月26日～3月26日

〈議案第1号〉 あきる野市スポーツ推進審議会条例

### Pick up 1 あきる野市スポーツ推進 審議会が設置されます。

スポーツの指導者の養成及びその資質の向上、スポーツに関する事業の実施及び奨励、スポーツ団体の育成など6項目について、教育委員会から意見を求められた場合、調査や審議をするために設置します。

#### 質疑意見など

Q 具体的な審議内容は？

A 障がい者スポーツの指導、普及や、高齢者が元気にスポーツに親しむことにより、仲間づくりや地域づくりができるようなまちづくりを目指すための取り組みなど審議していきたいと考えています。



● 自ら身体を鍛え管理していくことが健康につながると思うので、健康保険予算の削減のためにも期待しています。そのためにも各種団体への財政的援助が必要な場合は応じて欲しい。

#### 今回の議案は

専決処分……………2件  
市長提出議案…20件  
陳情……………3件  
議員提出議案…1件  
計26件

今号では  
この中から  
3つを  
Pick up

全ての議案名と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。ご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第2号〉 あきる野市学童クラブ条例の一部を改正する条例

### Pick up 2 五日市学童クラブが増設 されます。

来年度から対象児童が6年生までに広がるため、増加が予想される待機児童の解消などを目的に、五日市小学校内に増設します。児童館と同じ敷地内に学童クラブが設置されることで、放課後対策の充実が期待できます。

※これまでの保健センター内にある学童クラブは、第2学童クラブとなります。

#### 質疑意見など

Q 五日市小学校別館1階の使われていないところを使うということでしょうか。

A 余裕教室があり、待機児童解消のためにもその部分を活用します。

● 3年生くらいになると事業内容に満足できず、やめてしまう人がいると聞いています。6年生まで範囲を広げることなので、子ども達が充実した放課後を送れるよう、配慮をお願いします。



〈仮称〉草花公園住宅新築工事（建築工事その1）の請負契約の変更について

### Pick up 3 市営住宅の工事契約額を 約940万円増額します。

市営住宅建設にあたり、基礎地盤安定のため改良工事を行います。想定していたよりも厚い盛土層が確認されたため、より深い地盤まで改良工事を行うこととなりました。契約金は942万9000円の増加となります。

#### 質疑意見など

Q 当初の地質調査はしっかりできていたのでしょうか。

A 建設基礎設計のための地盤調査計画指針にもとづき、調査を行いました。この土地は、過去に田んぼがあったため水路やあぜの影響で、当初の調査では見分けられない部分もあったのかと思います。

● 過去の特殊な地形も分かっていたれば、もう少し細かい調査が必要だったと思います。





五日市物語

【事業名】フィルムコミッション事業

【事業費】579万3千円

【内容】あきる野の自然・歴史・文化などまちの魅力を伝える映像や画像を制作し、観光客の誘引につなげ地域活性化を図る。



秋川渓谷タペストリー

【事業名】秋川渓谷観光プロモーション事業

【事業費】918万5千円

【内容】秋川渓谷ブランドの認知度の向上や集客力を高めるため、秋川渓谷の魅力をPRする情報発信事業を強化する。



旧戸倉小学校

【事業名】旧戸倉小学校観光施設整備事業

【事業費】1950万円

【内容】宿泊機能を兼ね備えた着地型の秋川渓谷観光の拠点施設として整備するため、改修工事の設計を実施する。

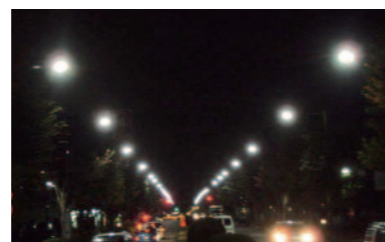


アルファ米

【事業名】災害用備蓄食料購入事業

【事業費】755万9千円

【内容】被害想定の見直しに伴い、アルファ米及びクラッカーを5年後に現在の2倍の備蓄量とするため予算を増額する。



LED街灯イメージ

【事業名】LED街路灯借上事業

【事業費】3399万5千円

【内容】街路灯7712基のLED化が終了し、10年間のリースを開始。年間約80%のCO2の削減と約1000万円の経費削減を図る。

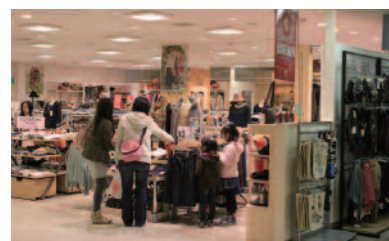


ファーマーズセンターと周辺農地

【事業名】新規就農者提案型支援事業

【事業費】150万円

【内容】農業技術取得研修を修了し、審査を経た新規就農者に補助金を交付し、担い手不足解消と農作物の安定供給を図る。



買い物

【事業名】プレミアム商品券事業補助金

【事業費】2000万円

【内容】地域経済等の振興を目的とするプレミアム商品券の発行を支援し、市民の購買意欲の向上と地域経済の活性化を図る。



子育て親子

【事業名】子育て世帯臨時特例給付金給付事業

【事業費】1億332万6千円

【内容】消費税率引き上げに伴い、子育て世帯への影響を緩和するとともに、消費を下支えるため、臨時的な給付措置を実施する。



歌舞伎

【事業名】全国地芝居サミット開催準備調査事業

【事業費】835万6千円

【内容】27年5月に当市で開催する全国地芝居サミットでの開催準備を進める。

平成26年度予算案をチェック

# 税金の使い道が決まりました。

## 一般会計予算

### 304億3726万5千円

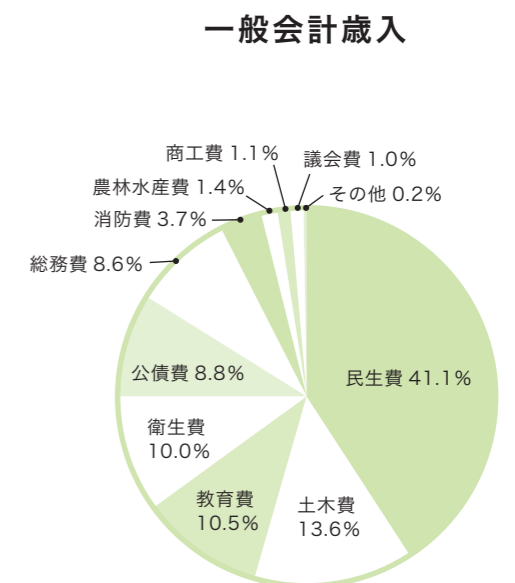
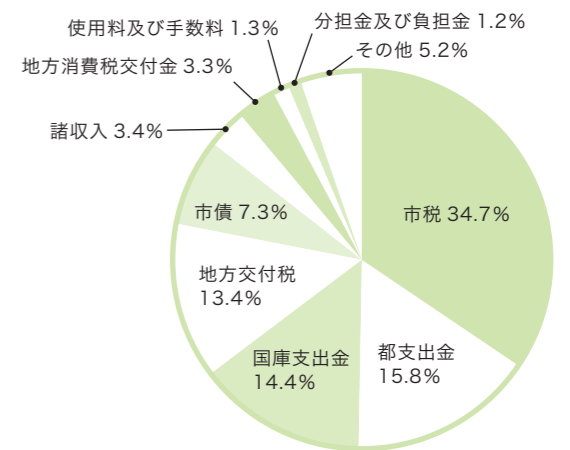
## 総額

### 496億8961万3千円

一般会計	304億3726万5千円
特別会計	
国民健康保険	90億7490万円
後期高齢者医療	15億4204万4千円
介護保険	50億6971万3千円
戸倉財産区	529万7千円
下水道事業	35億2123万8千円
テレビ共同受信事業	3915万6千円

## 会計別予算

市長から平成26年度の予算案が提案されました。3月18日・19日の2日間、予算特別委員会を開催し、皆さんから納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、全ての予算案が提案どおり可決され、平成26年度の税金の使い道が決まりました。その中から主な事業を左ページで紹介します。





## あきる野市議会 自民党

賛成

平成26年度一般会計予算は、304億3726万5千円で前年度比1.7%の増加となり、積極的な予算であると評価する。歳入では、12億円を超える地域の元気臨時交付金や、職員の徴収努力により市税収入が1億4800万円増加したことを評価する。今後も将来負担軽減につながるよう尽力して欲しい。歳出については、超高齢社会への対応、観光振興、環境保全、教育環境整備など盛り込まれていることは高く評価できる。五日市出張所の地域活性化協働センターの設置によりPR効果が高まったが、26年度もフィルムコミッション事業、旧戸倉小を秋川渓谷の観光拠点とする整備事業などに期待し賛成討論とする。



奥秋議員

## 公明党

賛成

平成26年度の一般会計予算は、前年度比1.7%増の304億3726万5千円となっている。五日市小学校への学童クラブ開設や臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、女性特有のがん検診へのコールリコール導入等を評価する。今後も口コモ対策の普及啓発で都内一健康寿命維持をお願いしたい。また、学校の非構造部材耐震化への取り組みや社会資本の老朽化対策、フィルムコミッション事業の本格スタート、旧戸倉小学校を観光拠点とする整備計画、新たな情報発信の充実等を高く評価する。依然として厳しい財政状況であるが、基金積み増しや市債の抑制等将来を見据えた予算編成であり、今後も堅実な行財政運営をお願いし、賛成討論とする。



増崎議員

## 民主党

賛成

歳入は、市税をはじめとする「自主財源」の割合は増加傾向で、これは健全な財政運営にとって必要不可欠であり評価する。市債は、25年度から26年度で約7億5千万円の減額は評価できる一方、「臨時財政対策債」残高は毎年増の26年度129億5167万1千円、国の地方交付税財源も不足している中、返済財源の負担を将来的にも国が保証できるのか疑問や不安もありその点は認識して欲しい。歳出は、環境と観光に力を入れる商工費は26年度3億4604万9千円と、25年度から約1億500万円、43.8%の増。款区分で他の歳出とは段違いの増であり、費用対効果を十二分に考えた執行を求む。課題もあるが、市民の声に応える努力はしており、予算について賛成する。



中村議員

## 政和会

賛成

国の経済対策により株価関連の税増収と、市税も上向き傾向である。市債総額より多い金額を返済する予算組は評価する。地方消費税交付金は増額で社会保障費に一部が回され、増税の目的が達成できる。歳出では人件費の削減が大きく、将来の本市運営の妨げにならない事を願う。民生費は予算総額の41.1%と大きな割合を占めている。健康施策の取り組みに重点を置き、市民の受診率も他市に比較しても高い。農林商工面では交付金、補助金を各事業に出し活性化に配慮している。土木費では橋梁の長寿命化の予算付けでインフラ整備を進め、教育費では教室等の非構造部の耐震化で子供たちの安全を図る。全体に市民の幸せ度向上の予算であるため賛成とする。



合川議員

平成26年度予算案をチェック

# このような理由で平成26年度 一般会計予算案に賛成・反対しました



田中委員長

定例会最終日に、予算特別委員会で審査した結果を田中委員長が報告し、平成26年度一般会計予算の内容について全会派が賛成または反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

## 自由民主党 志清会

賛成

過去2番目の予算規模となった新年度の一般会計は、公共施設の老朽化が課題となる中、志清会から強く要請した鳥居場・玉見両会館の改修費用を盛り込む一方、地域の元気臨時交付金を有効活用して将来負担の削減にも取り組むなど、評価できる編成になっている。歳出では、来年の市制施行20周年と「観光都市あきる野」の礎として、全国地芝居サミットの開催準備をはじめ、フィルムコミッション事業など、地域資源を活用した予算措置が講じられたほか、会派として緊急要望したプレミアム商品券の発行を予算化。この他にも五日市第1学童クラブの増設や、児童館、農業会館の改修促進、そして歩道の整備など、幅広い世代に配慮された予算となっており評価する。



子籠議員

## 日本共産党 あきる野市議団

反対

個人市民税増見込みの要因は復興増税、個人所得は減り続けている。五日市第1学童クラブ設置、鳥居場・玉見会館の整備などは評価する。「いきいきセンター」冬季の営業再開を。安心の保育の充実、35人以下学級を広げる努力を。補助金カットをやめ、市長退職金は見直しを。郷土の恵みの森事業予算が増え続けている。観光費1億円以上は市民の理解が得られない。るのバスなど交通網の充実こそ必要。秋川駅自由通路エレベーターの設置に予算計上を。引田区画整理事業は、改めて住民の意見を聞き、具体的見通しが立つまで予算は最小限に。くらし福祉優先の予算編成を求め、反対する。



戸沢議員

聞いてみたいな  
こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20名 質問 46項目

### 福祉

## 健康寿命を伸ばすまちづくりについて



子龍 敬人議員

**Q** 平成26年度からの総合計画後期基本計画案の中に健康寿命という表現が見られない。今後の各種計画策定や福祉施策の展開において、健康寿命という考えを意識して取り組んでもらいたいと考えるがいかがか。

**A** 国民健康保険税の納税通知書の送付時に、特定健康診査の受診勧奨チラシを同封する。なお26年度から子宮がんや乳がんを同時実施できよう調整している。

**Q** 阿伎留医療センターとの連携による検診機会の充実について考えはあるか。

**A** 26年度の通常の検診期間に、日曜日の乳がん検診が実施できるよう、センターと調整している。

**Q** 健康寿命を伸ばす新たな取り組みとして、市民との協働による健康づくりは、健康づくり市民推進委員の方々の協働により、各地域に体脂肪計や超音波骨密度計などを持って行き、健康相談等を新たに行っていく。

**A** 健康づくり市民推進委員の活動



**Q** 健康診断などの受診率向上策は。

他に市有施設の屋根貸し、コミュニティ事業交付金について質問した。

### 雇用

## 男女共同参画について



たばた あずみ議員

女性の労働力が注目されている一方で、女性の雇用や政治的・公的活動の参画が遅れている。

**A** 育児休業は22年度2人、23年度1人、24年度は部分休業1人。短期の介護休暇はそれぞれ4人、7人、3人。今後も女性の社会参加サポートのため、制度等の情報提供を図っていききたい。

**Q** 女性職員の登用・キャリア形成支援の取り組み状況は。

**A** 平成25年度の市女性職員は425人中131人で31%。管理職は3人、課長補佐職3人、係長職は21人。女性職員のキャリア形成のため、女性管理職登用の当面の目標を管理職3%、課長補佐・係長職を8%とし、意識啓発の研修を実施している。

**Q** 女性正職員を増やす意思はあるのか。

**A** 職員採用には能力を重視しており、優秀な女性職員にどんどん入ってほしい。

**Q** 男性職員の育児休業・介護休暇取得率向上の取り組みは。

他に学力テストについて、小中学校における性同一性障害への対応について質問した。



### 農業

## あきる野農業の振興について



戸沢 弘征議員

農地継承が困難で放棄状態の農地が見られる。農地と農業経営は、環境都市あきる野のまちづくりとして大切な課題である。

**Q** 市の総合計画には、集团的農業振興地域計画がある。肥培管理されていない未耕作農地をどのように解消させる展望を持っているか。

**A** 市では新規就農者の積極的な受け入れ体制を整備し、農地の貸し手と借り手の相互調整、課題の解決に努める。

**Q** 新鮮な「地産地消」の農作物直売所であるファーマーズセンターの改修計画の展望を伺う。

**A** 当施設は新耐震設計基準の要件を満たすが、老朽化も進み再整備が必要である。今後も、市、秋川農業協同組合、農業者で組織するチームで、協議や視察を重ねて取り組む。





## 土地開発公社について



奥秋 利郎議員

**Q** 土地開発公社の簿価の縮減は将来負担を軽くする上で重要である。財政指標のひとつである将来負担比率は平成19年度では140・6%で非常に高い状態にあったが、24年度では64・7%になり半減した。他市に比べ、いまだ高い状況であり、公債比率や財政力指数などに大きな変化はないが、将来負担比率が大きく改善した理由は。

**A** 将来負担比率が大きく改善した第1の要因は、土地開発公社の健全化を進めたことにより、簿価残高が縮減するとともに、市が買い戻した土地に係る償還も進んでいること。第2の要因としては、将来負担額から控除される財政調整基金の積み立てを積極的に行ってきたことにより、19年度と比較して基金残高が倍増したこと。そして第3の要因としては、公立阿伎留医療センターの新築工事に伴う地方債の償還が進むとともに、職員数の抑制により、退職手当負担見込額が減少していることが挙げられる。



## 介護予防対策について



田中 千代子議員

健康寿命や介護予防を阻害する3大要因はメタボリックシンドローム（以下メタボ）、ロコモティブシンドローム（以下ロコモ）、認知症といわれている。要介護になる要因の第1位がロコモであることから、その対策が必要と考える。

**Q** 本市の健康寿命は東京都では何番目か。

**A** 東京都のデータ（平成23年度）によると、本市の65歳健康寿命は、町村を除いた区市で、男性、女性とも1位の結果が出ている。

**Q** ロコモの認知度を高めるとともに、市民の健康寿命を伸ばす取り組みをしてはどうか。

**A** ロコモについては、メタボなどに比べると一般的に認知度が低いため、健康寿命を伸ばす取り組みの中で、

ロコモ対策の重要性について積極的に周知していきたい。27年度からの地域保健福祉計画の中で、健康寿命の延伸というテーマをしっかりと示しながら、ロコモ対策の位置づけについて検討していきたい。

他に動物愛護、人と動物との共生社会を目指す取り組みについて質問した。



※ロコモティブシンドローム  
骨、関節、筋肉の衰えにより、歩行や日常生活がしにくくなること。

※65歳健康寿命  
65歳以上で健康で自立した日常生活を送れる期間。

## 学校のトイレ清掃活動について



村野 栄一議員

**Q** 市内小中学校のトイレの臭気がひどく、不快な気持ちで使用しているなどの声がPTA連合会を通して市に寄せられた。児童生徒の道徳心を育むという観点でも改善が必要と考えるが、現状を伺う。

**A** 排水管、男子トイレ小便器の内側についた汚れ、和式の便器周りの尿こぼれなどで、臭いが発生することもある。現在は、洋式化を進めており平成25年度に全て完了するので、解消できる部分もあると思う。

**Q** 児童生徒が清掃を実施していない学校が小学校10校中4校、中学校5校中1校であることが今回の調査でわかった。今後、市内小中学校ではトイレ清掃についてどう児童生徒に取り組みさせていくのか伺う。

**A** 道徳教育上汚したところの掃除や、整理整頓する態度は児童生徒の公共心を育む。学習指導要領の中にも望ましい社会参画の第一歩であると述べられており、大変重要と認識している。清掃後のうがい、手洗いの徹底等、衛生面にも十分に配慮した上で清掃活動を推進するよう指導していく。

他に子ども・子育て支援新制度について質問した。



## 除雪対策と市民生活への影響について



山根 トミ江議員

**Q** 農業用ハウスなど、本市における被害額は。  
**A** ハウスの被害が68戸164棟。東京都の算出方法で総額約9700万円である。

**Q** 大雪の除雪に対応できる装備を持っている業者は市内にどれくらいあるか。  
**A** 契約している業者15社だが、そのうち9社は東京都の委託も請け負っており、市道の除雪を専門でできるのは6社である。

**Q** 町内会・自治会に対して、除雪機具を設置するなどの助成ができないか。  
**A** 要望がある場合は、東京都による地域の底力再生事業助成を活用して欲しい。

**Q** 農水省は大雪被害の支援策について、ハウス、棚などの撤去費用は国と自治体で

全額負担し、再建、修繕費用も2分の1公費負担するとの報道がされているが、市はこのことを把握しているか。  
**A** 農林水産省のホームページの記載は確認したが、まだ具体的な動きが来ていない。今後、国や東京都の細かい制度設計を踏まえ、市も動きたい。

他に投票率向上に向けての改善策、空き家になっていく市営住宅の安全対策について質問した。



### 旧戸倉小学校の再利用について



村木 英幸議員

**Q** 平成26年2月に滋賀県米原市にある複合型施設を視察してきた。そこは、創立1

37年の小学校が閉校となつた後、サービスタ付き高齢者向け住宅、グループホーム、訪問介護居宅介護支援事業所、高齢者サロン、ボクシングフィットネスジム、国の特別天然記念物長岡ゲンジボタルの資料を収集した「ほたる館」から成る福祉住宅・地域交流施設として改築オープンした施設であった。旧戸倉小学校も地域における介護、介護予防、在宅医療、地域交流の拠点施設とすべきと考えるが、

旧戸倉小の再利用については、どのような議論がされたか。

**A** 24年度に戸倉の自治会や高齢者クラブ、PTA等と戸倉小学校施設地域検討会を開催し、7回の会議を開催してきた。地元からは集会所や料理教室が開け、図書館やメモリアルルームなど必要との要望があり、25年度からは首都大学東京をアドバイザーに加え、全国の廃校活用事例を紹介しながら、ワークショップ形式で話し合いを進め、集約してきた。その結果、宿泊や飲食、体験、展示の機能を基本に、戸倉地域の特徴や資源を生かした観光拠点的な活用計画がまとまった。介護や医療施設等に関する要望はなかった。

旧戸倉小の再利用については、どのような議論がされたか。

24年度に戸倉の自治会や高齢者クラブ、PTA等と戸倉小学校施設地域検討会を開催し、7回の会議を開催してきた。地元からは集会所や料理教室が開け、図書館やメモリアルルームなど必要との要望があり、25年度からは首都大学東京をアドバイザーに加え、全国の廃校活用事例を紹介しながら、ワークショップ形式で話し合いを進め、集約してきた。その結果、宿泊や飲食、体験、展示の機能を基本に、戸倉地域の特徴や資源を生かした観光拠点的な活用計画がまとまった。介護や医療施設等に関する要望はなかった。



旧戸倉小の再利用については、どのような議論がされたか。

24年度に戸倉の自治会や高齢者クラブ、PTA等と戸倉小学校施設地域検討会を開催し、7回の会議を開催してきた。地元からは集会所や料理教室が開け、図書館やメモリアルルームなど必要との要望があり、25年度からは首都大学東京をアドバイザーに加え、全国の廃校活用事例を紹介しながら、ワークショップ形式で話し合いを進め、集約してきた。その結果、宿泊や飲食、体験、展示の機能を基本に、戸倉地域の特徴や資源を生かした観光拠点的な活用計画がまとまった。介護や医療施設等に関する要望はなかった。

### 循環型社会の形成について



松原 敏雄議員

使用済小型電子機器等の再資源の促進に関する法律が、平成25年4月1日に施行され、本市では、26年1月より2回、使用済小型電子機器の無料回収が始まっている。

**Q** 認定事業者へ有償引渡しの際、kg当たりの金額と年間の売却益の見込みは。

**A** 回収された機器は西秋川衛生組合に集められ、国の認定を受けた事業者へ引き渡し、手選別及び破碎選別を行い、鉄、非鉄、ダストに分別される。更に精錬メーカーに引き渡され、資源として再生される。

**A** kg当り30円、年間100万円の売却益を見込んでいる。

**Q** 使用済小型電子機器の回収からリサイクルまでのシステムは。

**Q** 現在、指定28品目のうち、高品位小型家電15品目を回収しているが、今後、残り13品目の回収予定は。

**A** 回収された機器は西秋川衛生組合に集められ、国の認定を受けた事業者へ引き渡し、手選別及び破碎選別を行い、鉄、非鉄、ダストに分別される。更に精錬メーカーに引き渡され、資源として再生される。

**A** 資源が少ない我が国にとって、資源のリサイクルは重要である。経済的な観点も考慮しつつ、前向きに取り組みを協議していきたい。他に観光について質問した。



### 2月の雪害について



澤井 敏和議員

**Q** 2月8日・14日の降雪後、除雪の優先順位は、どの様に決めたのか。

**A** 両日の除雪費用は、全体で約6200万円。

**A** 2月9日が都知事選挙であったことから、投・開票所周辺、国道や都道へつながる幹線市道、駅に結節する市道、るのバスの運行道路を優先し、順次狭い道路へ移行した。

**Q** ビニールハウスの倒壊は、死活問題で早期の支援体制が必要と考えるがいかがか。

**A** 農業支援策については市とJA秋川とで進めているが、国の支援と内容が重複する部分があるため、制度設計を確認しながら対応する。

**Q** 重機を使い無償で除雪に協力した方への市の対応は。深く感謝をする。今後は業者の除雪作業体制の構築、など総合的な仕組みづくりを検討する。

**Q** 降雪時における支援体制の確立が必要と考えるが、いかがか。

**A** 今回の教訓を生かし地域防災計画の修正に取り組む。



**Q** 火災から市民生活を守るため、消火栓などの水利除雪が最優先と考えているが、どのような対応をしたか。

**A** 消防団が自主的に詰所周辺、消防用水利箇所の除雪や除去確認をした。

### (仮称)草花公園住宅の今後の管理・運営について



細谷 功議員

**Q** (仮称)草花公園住宅に住む住となる99世帯の自治運営は、どのように計画しているか。

**Q** 秋3・3・9号線整備工事に伴う「草花・高瀬地区」の白地解消について、進捗状況を伺う。

**A** 小宮町内会の考えを伺い、入居後に99世帯を対象に意見交換会を開催する予定。

**A** 登記に必要な書類等を登記所と確認、地権者の所在確認の2つの作業の進み具合を勘案し、4月末頃全所有者を対象に、筆界未定地解消に向けた取り組みの説明会を開催予定。

**Q** 今まで住んでいた9つの木造市営住宅跡地の処分計画は。

**A** 原則売却予定だが、あきる野市営住宅跡地検討委員会を立ち上げ、現地調査や課題などの整理を行っており、早期に報告書を取りまとめる。



※白地  
建造物・立木の立っていない土地。また、法律上の調査・規制などのなされていない土地。

※筆界未定地  
地籍調査が行われた際、境界(筆界)を確認できず、筆界が未定のまま処理された土地。



### 雪対策について



清水 晃議員

首都圏は2週連続で週末に記録的な大雪に襲われた。大雪時の情報発信はどのようになっているか。

**A** 本市の災害関連情報は、防災行政無線及び安心メールにより発信している。

**Q** 本市の被害状況、道路の寸断による復旧体制と対応策は。

**A** 滝山街道や七曲り峠、また檜原街道の一部通行止めのほか、るのバスの運行見合わせや、ごみ収集の中止、屋根の雪おろし中の転落死亡事故が1件発生した。道路の除雪は交通量の多い幹線



道路から順次狭い道路へ移行した。

**Q** 雪氷防災対策と大雪にかかると今後の対応方針は。

**A** 第1に地域防災計画、風水害等編の見直し。第2に除雪する道路の優先順位の明確化及び周知・防災協定の構築。第3に情報提供、第4に地震時とは異なる要援護者対策。最後に雪害版の事業継続計画の作成が必要と考える。

他に平成26年度施政方針、高齢社会を迎えた政策について質問した。

### 雪害の対応について



増崎 俊宏議員

平成26年2月の大雪は、本市でも甚大な被害と混乱をもたらした。

**Q** 市からどのような情報をどの程度発信したか。

**A** 防災無線は、るのバス運行状況、ごみの収集状況等、安心メールは同様のものに加え、通行止め情報、JR五日市線の運休情報を発信した。

**Q** 除雪状況や市民への理解を求める発信はできないか。

**A** 市民からSNS等を活用した情報収集はできないか。



**A** 地域防災計画の中で、どんな情報収集が一番良いのかを検討したい。

**Q** 要援護者に対し安否確認や状況把握のため、何らかのアプローチはあったか。

**A** 災害時要援護者807人には連絡はしていない。公助の活動の展開をするため、災害時要援護者に対しての支援活動には、地域住民の協力が不可欠だと考える。

**Q** 人工透析患者や薬が切れた方等への対応の検討は。

**A** 災害時要援護者、高齢者世帯、障がい者世帯等、地域防災計画の見直しの中で、何らかの対応をする必要がある。

他に無料公衆無線LANサービス等の整備、障がい者の権利について質問した。

### あきる野市総合計画・後期基本計画について



天野 正昭議員

現在、当市では社会情勢の変化に対応するため、市の未来設計図とも言える「あきる野市後期基本計画」の改定作業を進めている。その中で市民の関心の高い4項目について市の考えを伺う。

**Q** 医療について。

**AQ** 少子高齢化が進行する状況に対応し、ホームドクターの必要性の啓発、阿伎留医療センターの充実、救急医療体制の整備等を行う。

**AQ** 商工業について。

商業環境の整備、経営安定化の支援、商店街活性化の促進を展開し、活力ある商工業の振興を図っていく。

**AQ** 防犯・防災について。

自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治の精神のもと、市民



と行政が協働して災害や犯罪に強いまちづくりを行い、多様化する市民ニーズにきめ細かに対応していく。

**Q** 生物多様性地域戦略について。

**A** 行政、市民、事業者が協働しながら、本市ならではの、環境と観光を融合させた計画になると考えている。

他にあきる野市と日本山岳耐久レース（ハセツネ）について質問した。

### 五日市駅前市有地の活用について



中嶋 博幸議員

**Q** 施政方針で「五日市駅前の市有地の活用について、情報発信とおもてなしの拠点を整備できるよう民間業者の提案を広く募る」とある。観光地の玄関口として五日市駅前の一等地で、地主企業による商業施設の運営を働きかけるか、または、市有地と交換を行い、施設整備事業計画の整備を実施できるように努力すべきと考えるが、見解を伺う。

**A** 武蔵五日市駅前市有地については、民間事業者からの提案を募る。施設の整備や運営は、民間の資金・アイデアや経営力を生かした、民間業者とのパートナーシップが望ましいため、民間ならではの市有地活用策を募集し、理想的なかたちを見いだしていきたい。秋川溪谷の観光のランドマークの場所であり、ランドマー



クらしい整備をしないと観光都市にはならないと思う。民間と協働でやっていくという強い意志を持って当たりたい。非常に良い意見なので、それに応えられればと思っている。

他に東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて質問した。



## 市民の声について



中村 のりひと議員

**Q** 市からの情報発信はいつかの方法があるが、その発信を受信することができない市民を把握しているか。

**A** 平成26年3月現在の広報紙の配付件数は約2万6450件、約7550世帯が未配付世帯である。各公共施設に配置している広報紙やホームページなどから情報を取得していることも想定されるため、正確な件数は把握できない。

**Q** うに考えているか。施策分野ごとにICTの有効活用について検討する必要があると考える。

**A** 今後の情報発信、情報受信には「市民が求める情報は何か」のアンケートをとるべきと思うがどのように考えているか。

**Q** これからの情報発信、情報受信は双方向が重要になると思われるが、ICT(情報通信技術)の活用をどのよ

**A** 必要な情報を必要な方々に届けるのが一番である。26年度はホームページのリニューアルを実施して、新たなシステムを導入し、カスタマーエクスペリエンスの向上を図る。欲しい情報が欲しい方に届くようにしたい。

他に市民の健康を軸とした自治体運営について質問した。



## 老人福祉政策について



合川 哲夫議員

**Q** 市町村は、環境上及び経済的理由で、自力で暮らせない高齢者などを、養護老人ホームで保護する措置を行っているが、国の三位一体改革による地方への税源移譲で、措置に対する国からの負担金がなくなり、市町村が全額負担すると聞く。

**A** そのため市町村では、国が費用負担する生活保護を勧め、養護老人ホームは入所待ち状態が続く「措置控え」があるとのことだが、本市での事例はあるか。

**A** 本市で、措置控えはない。養護老人ホーム入所措置は、老人福祉法に基づき、環境上、経済的理由を総合的に判断し適切に実施している。現在の入所措置者数は7人で、国と東京都の負担金に代わって地方交付税による財源措置が講じられている。

**Q** お泊りデイと称し宿泊提供するデイサービス事業所がある。戸建住宅に1日1000円程度で宿泊させるが、衛生面の問題もあると聞く。本市の実態は。

**A** 市内にお泊りデイサービスを提供している通所介護事業所が1カ所あり東京都に登録している。人員や利用定員の確保、必要な設備等、適切な運営がされている。国の基準が無いため東京都では独自に基準を設け遵守させ必要に応じ指導、助言を行っている。

他に雪害対策について質問した。



※カスタマーエクスペリエンス  
商品・サービスの選定、購入、利用、サポートまでの経験を通じて顧客が感じる価値。

## 子どもたちの放課後対策について



市倉 理男議員

**Q** 子どもを取り巻く環境が大きく変化している。

**A** 放課後対策事業の課題は、共働きの増加により、学童クラブの待機児童が発生している。施設の増設に取り組んできたが、面積確保の難しさなどが課題である。

**Q** 放課後対策を推進するに当たり、予算面と組織面の対応は。

**A** 児童館経費など予算の効果的活用を図るとともに、関係部局との連携強化を図り、組織改正も視野に入れ対応していきたい。

**Q** 放課後対策をさらに充実させる取り組み策は。

**A** 児童館を段階的に学童クラブ専用施設への転用を考えている。放課後子ども教室と学童クラブの一体的あるいは連携して運用を行うことで、より効果的で充実した放課後対策を推進していきたい。



## 秋川流域ジオパーク推進事業について



町田 匡志議員

**Q** 平成23年の第1回定例会における市長の施政方針の中で、ジオパーク構想について語られて以来、3年が経過した。

**A** 改めてこの事業の意義は。秋川流域をエリアとするジオパークを内外に発信し、自然保護、観光、教育等に活用しながら持続的経済発展を目指すことが意義である。

**Q** 認定までの課題と認定後の課題は何か。

**A** 強固な組織と運営、財政措置、ジオサイト整備及び地域住民への周知や、認定後は流域全体で持続可能な体制の構築が重要な課題である。

**Q** 市民への周知と市民の関わりに期待することは。

**A** 市民の方々が、市外アピールできるよう、地域にある資源に誇りを持って欲しい。

**Q** 今までの取り組みの経過と今後の予定について。

**A** 推進会議が中心となり勉強会、視察、化石発掘体験と鑑定などを行い、今後はジオサイトの選定、日本ジオパークネットワークに加盟し構想を全国に発信したい。



※ジオパーク  
地球科学的に見て重要な自然の遺産を含む、自然に親しむための公園。

※ジオサイト  
ジオパーク内の見学場所。



# 傍聴へ行こう！

市議会を傍聴することができます。市民の皆さんが選んだ議員が、まちのルールを決めるためにどのような話し合いをしているのか、お気軽にお越しください。



## 受付

傍聴の受付は、あきる野市役所本庁舎6階の議会事務局にお越しください。

＊事前のご予約は必要ありません。

## 会議資料

傍聴席入口前に会議資料がありますので、ご自由にお持ちください。  
本会議の詳しい資料（議案）は、議会事務局の窓口で閲覧できます。



## 傍聴席

本会議の傍聴席は一般39席・車イス2席・記者5席。また、委員会室の傍聴席は一般7席・記者3席を設けています。

- ＊傍聴席には限りがあるため、先着順となります。
- ＊傍聴席に空きがない場合は、次のようになります。  
本会議は、議会図書室及び本庁舎1階ロビーのテレビで議会中継をご覧になれます。  
委員会は、議会図書室で音声のみお聞きになれます。
- ＊審議や他の傍聴者の妨げにならない範囲で、会議開始後の入場や途中退席をすることもできます。



Q (仮称)草花公園住宅新築  
工事で木造住宅の契約単価が坪当たり約114万円と  
思料される。市内の大工  
さんが請負う相場は坪当たり  
50から60万円で立派な住宅  
ができるとのこと。また隣  
町で昨年建てた町営住宅は  
坪当たり約78万円とのこと  
である。仮に隣町と同じ単  
価でできた場合、約5億8  
000万円節約できる。さ  
らに今回は4社が入札に参  
加していたが直前に3社が  
辞退し、残る1社が予定価  
格の100%で受注してい  
る。これらのことは、現下  
の財政状況に照らしたとき、

A (仮称)草花公園住宅新築  
身の丈にあった市営住宅建  
設事業とは思えないが、市  
の考えを伺う。  
工事については、できる限  
り発注者、発注形態など地  
元業者が参画できるように共  
同企業体という方式をとつ  
た。この事業は、公営住宅  
法やそれに基づく関連基準  
などに基づいて居住水準、  
構造設備などを計画し積算  
していることから、適切な  
ものと考えている。入札に  
ついては、最終的に1社が  
予定価格で入れたが、市は  
積算上最低価格としていた  
範囲での落札であったこと  
などから、再入札の検討は  
しなかった。

契約

## 入札制度について



野村 正夫議員



## 請願・陳情の提出方法

6月定例会では5月26日(月)までに提出された  
請願・陳情を審査します。

### 〈請願〉

市議会議員の紹介が必要で、議長が受理し、各常任委  
員会に付託され審査されます。議会最終日に各常任委員  
長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。

### 〈陳情〉

市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請  
願と同じです。

### 「書き方」

● 請願(陳情)の趣旨、理  
由については、できるだけ  
簡潔に書いてください。  
また、場所などの表示が必  
要なものは、図面を付けて  
ください。

〇〇〇に関する請願(陳情)

1. 趣旨  
2. 理由  
紹介議員 〇〇〇 〇  
平成 年 月 日  
請願(陳情)者  
住 所 〇 外 名  
氏 名 〇 〇 〇  
電話番号  
あきる野市議会議長 〇〇〇 殿

● 2名以上で請願(陳情)を行う場合は、住所・氏名を書いた署名簿を添えてください。なお署名者とその請願(陳情)の趣旨に賛同していることがわかるように、各署名簿に件名、趣旨、理由を記載してください。

### 「提出先」

あきる野市役所本庁舎6階の議会事務局に、直接持参してください。  
受付時間：平日8時30分～17時15分

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

TEL(558)1111



# 議会改革推進委員会では、こんな話をしています。

平成25年10月から調査研究を開始し、現在までに12回の委員会を開催しました。また、他市議会への視察を実施し調査研究を深めています。現在までの決定事項や、調査研究状況などの一部をお知らせします。

## 議会カレンダーの掲示

議会開催中に、定例会日程を、市役所庁舎入口へ掲示することになりました。議会日より裏表紙のカレンダーと同じ様式で分かりやすくお知らせします。開かれた議会を目標し、傍聴以外の用件でこられた方にも、議会の活動を知ってもらうことを期待しています。

## 傍聴者への資料配布

予算特別委員会や決算特別委員会では、予算書、決算書について議会事務局の窓口でのみ閲覧することが可能でしたが、傍聴席で閲覧することができなかったため、議論している内容が理解できないとご意見がありました。そこで、委員会傍聴席でも予算書、決算書の閲覧ができるようにしました(3部のみ)。また、受付で配付している本会議の資料も、自由にお持ち帰りいただけるよう、会期中、傍聴席入口付近に常設しています。

## 議会基本条例

あきる野市議会基本条例の制定について、調査研究を行っています。その一環で、2月7日に、議会基本条例を制定している先進市である所沢市議会への視察を行いました。議会改革推進委員8人以外の議員も含め全17名で参加し、導入の経緯や運用方法などについての話を伺いました。視察後の委員会では、次のような意見が出されました。

「本市議会でも作ることを前提に合意形成し進めたほうがよい」  
 「条例がないときには、適当な運営をしていたのかと言われないように、目的を明確にするべき」  
 「全議員の理解を深め、制定の意義をはっきりさせる」など。  
 今後は、さらに認識を深めるため、専門家を講師に招き勉強会を開催するなど、調査研究を進めていきます。



所沢市議会への視察

## あきる野市議会活動レポート

### JR五日市線改善特別委員会



25年7月から全4回の会議を重ねた結果、「単線強化策」「施設改善」「安全対策」「ダイヤ改正」「乗り継ぎの改善」「その他改善」の6つを新たな課題としてまとめたので、合川委員長から堀江議長へ報告しました。

### 議員勉強会（入札制度）



平成26年1月24日（金）に「あきる野市の入札制度について」の議員勉強会を開催しました。21人全議員が参加し、契約管財課の説明を受け質疑を行いました。

### 東京都市議会議長会議員研修会



平成26年2月13日（木）に東京都市議会議長会が主催する第52回東京都市議会議員研修会が、「府中の森芸術劇場」で開催され、議員が参加しました。今回は、「人口減少・都市縮小時代の都市計画」という演題で、首都大学東京都市環境学部准教授 饗庭伸氏が講師を勤めました。

### 環境建設委員会



秋川の川砂利堆積問題を調査した結果、東京都の関係機関への要望をまとめたので、環境建設委員会子籠委員長から堀江議長へ報告しました。